

**【生徒の実態】**  
 ○素直で、落ち着いた様子である。  
 ○学校行事や様々な活動に前向きに参加する。  
 ○積極的に表現し、大勢の前で発表する力が不十分である。

**【学校教育目標】** 新しい時代を生き抜く生徒の育成  
 (1) 主体的に判断・行動できる生徒の育成  
 (2) 自己有用感を高める生徒の育成  
 (3) 夢や目標の実現に向けて努力する生徒の育成  
 (4) 学習の基盤となる資質・能力を身につけている生徒の育成

**【保護者の願い】**  
 ○自主的に学習し、思いやりと規範意識のある人間になってほしい。  
 ○家庭・地域に愛着を持った人間になってほしい。

**【地域の実態】**  
 ○協力的である。学校からの協力や要望等についても前向きに検討していただいている。  
 ○地域の中で、子どもを育てるという意識がある。

**【特別活動の目標 学習指導要領より】**  
 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。(知識及び技能)

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力・人間性等)

**【地域の願い】**  
 ○社会に有用な人間になってほしい。  
 ○地域の今後のあり方について考えられる人間になってほしい。

**【特別活動の内容及び育成を目指す資質・能力】**

内容	学級活動	生徒会活動	学校行事
<b>目標</b>	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
<b>指導方針 (例)</b>	・話し合い活動等、小学校からの積み重ねや経験を生かす。 ・学習や生活の見通しを立て、振り返る教材を活用する。 ・学習指導要領に示された11の内容を確実に実施する。進路学習や職業観・勤労観を養う学習は特に計画的に行う。	・生徒の自発的、主体的な活動が効果的に展開されるようにする。 ・集団としての意見をまとめる等の話し合い活動を重視する。 ・生徒自身でまきりつくって守る活動を充実する。 ・人間関係を形成・調整する力を養う活動を充実する。	・総合的な学習の時間との兼ね合いを明確にする。 ・行事の種類ごとに、内容を重点化するとともに、行事間の関連や統合を図る。 ・体験活動を通して気付いたことなどをキャリアパスポートなどに振り返り、まとめたり、発表しあったりする活動を充実する。
<b>授業時数</b>	年間35時間	年間、学期ごと、月ごとなどに適切な授業時数を充てる	
<b>育成を目指す資質・能力</b>	<b>知識及び技能</b>	・学級やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される生徒主体の組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けるようにする。 ・集団や人間関係をよりよく構築していく中で大切にすべきことを理解する。	・各学校行事の意義について理解するとともに、活動のために必要なことを理解し、規律ある行動の仕方や習慣を身に付けるようにする。 ・集団でなくては成し遂げられないことや集団で行うからこそ得られる達成感があることを理解することなど、集団と個との関係や人間関係をよりよく構築する方法について理解する。
	<b>思考力、判断力、表現力等</b>	・学級や自己の生活や人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ・現在及び将来に向けた自己実現のために、自己のよさや個性、置かれている環境を様々な角度から理解するとともに、進路や社会に関する情報を収集・整理し、将来を見通して人間としての生き方を選択・形成できるようにする。	・学校行事を通して集団や自己の生活上の課題を結び付け、人間としての生き方について考えを深め、場面に応じた適切な判断をしたり、人間関係や集団をよりよくしたりすることができるようにする。 ・人間関係をよりよく構築していくために、多様な場面で、自分と異なる考えや立場にある多様な他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働していくことができるようにする。
	<b>学びに向かう力、人間性等</b>	・学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。 ・日常の生活や自己の在り方を主体的に改善しようとしたり、将来を思い描き、自分にふさわしい生き方や職業を主体的に考え、選択しようとしたりする態度を養う。	・学校行事を通して身に付けたことを生かして、集団や社会の一員としての自覚を持って多様な他者を尊重しながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくらうとする態度を養う。 ・多様な他者の価値観や個性を受け入れ、助け合ったり協力し合ったり、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養う。

**【学級経営】**  
 ・学級経営方針と特別活動の関連を図り、特にいじめの未然防止に関する指導を充実させる。その際には、ガイダンスとカウンセリングの双方の趣旨を踏まえて指導を行う。  
 ・「問題の予防→問題の発見→解決方法の話し合い→解決方法の設定→決めたことの実践→振り返り」という学習のサイクルを回していく中で、生徒一人一人に役割と責任を持たせることで、自己有用感を高める指導を行う。

**【生徒指導】**  
 ・基本的なルール、マナー、等の集団生活における基本的な生活態度に関する指導を充実させる。  
 ・特に、入学当初の生徒に対しては、新しい人間関係や学習環境につまずいて、学校生活への不適応を起こすことのないよう、全体への指導とともに、個別への適切な支援を行う。  
 ・生徒指導の全体計画、年間指導計画に基づいて、年間を通して計画的に指導を行う。

**【進路指導】**  
 ・自分自身を見つめ、自分と社会とのかかわりを考え、将来、さまざまな生き方や進路の選択の可能性があることを理解させる。  
 ・キャリア教育の視点を踏まえ、生徒一人一人が、学ぶこと、働くこと、そして生きることについて考え、それらの結びつきを理解することで、多様な他者と協働しながら、自分自身の人生を歩んでいく力を育むことができるよう指導を行う。

**【学習の評価】**  
 ・生徒一人一人のよさや可能性を積極的に認めるようにする。  
 ・生徒が自己の活動を振り返り、新たな目標や課題をもてるようにするために、接道の結果だけでなく、活動の過程における生徒の努力や意欲を認めるようにする。  
 ・特別活動で育成を目指す資質・能力がどのように成長しているかという視点から評価を進める。

**【各教科等との関連】**

各教科等	道徳科	総合的な学習の時間
・【防災】理科や社会等の学習と関連付けながら、安全を保つために必要な事柄への理解を深めるとともに、「自助」「共助」につながる、自立した生活を営むための力や共に助け合うための力を育てる。	・道徳科の内容項目の中でも、特に「主として人との関わりに関すること」「主として集団や社会との関わりに関すること」を取り扱う際には、学級活動や学校行事等と関連付けながら指導を行うことで、人間関係調整力を育てる。	・学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探求活動に主体的に、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。

**【家庭及び地域との連携】**

・生徒会活動を中心として、家庭及び地域との連携を図る。特に、リサイクル活動では、地区ごとに生徒が考えた割り振りを基に、当日は家庭、地域が一体となって活動を進める。また、それによる収益金については、生徒の学校生活をよりよくするために使用する。